令和４年度　高大連携授業（後期）授業要目＜科目概要＞

Ｓｙｌｌａｂｕｓ

■従来型授業　　□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	**大学等名**	ノースアジア大学
科目名 (ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙ)	〔21〕なぜ学校は必要なのか？ （『脱学校の社会』から）	**科目担当者** (学部・学科・職・氏名)	経済学部　経済学科 准教授　市原 光匡　（計1名）
授業概要	情報化の進展に伴って、学校以外のさまざまな場で知識や技術を獲得できるようになるなか、学校の存在意義が問われています。昔から問われてきたこのテーマについて、イリッチの脱学校論をもとに検討します。		
授業方法と留意点	講義内容をまとめたプリント教材を毎回配布し、それに沿って授業を進めていきますが、みなさんが議論する時間も持つ予定です。授業のテーマである学校の存在意義について、みなさんなりに考えておいていただきたいと思います。		

授　業　計　画

【募集定員人数２４名】先着順で募集を締め切ります

＜１０月６日（木）17：30～19：00＞

第１講：「教育病理と脱学校論」

学校の急速な普及・拡大は、多くの国々で教育病理を生じさせ、学校改革や学校そのものの存在意義が問われることとなりました。なかでも、学校制度全体を廃絶するというイリッチの主張を取りあげ議論します。

＜１０月１３日（木）17：30～19：00＞

第２講：「なぜ脱学校は実現しないのか？」

イリッチは、学校に代わる教育の制度も提案しています。彼のことばを借りつつ、脱学校化した社会のイメージを描くとともに、なぜ現実には脱学校化が実現していないのか、なぜ学校が必要とされているのか検討します。

その他		
テキスト	特にありません。必要に応じて資料を配布します。	
参考文献	イヴァン・イリッチ『脱学校の社会』[The Deschooling Society] 東洋・小沢周三訳，東京創元社，1977.	
関連科目	公共	
開講日時	10/6（木）	10/13（木）
	17：30～19：00	
会場	カレッジプラザ　（秋田市中通２丁目１-５１　明徳館ビル２階）	
欠席連絡先	ノースアジア大学 電話：018-836-1336（平日9：00～17：00）　E-mail: kyomu@nau.ac.jp	
緊急連絡先	（当日緊急の場合のみ）科目担当者E-mail：ichihara@nau.ac.jp	